

中国 21 Vol・50 予告(19年3月刊行予定)

特集●中国近現代知識経験と文学

伝統的な文学理論では、文学の「本質論」「功用論」「性情論」「文体論」「風格論」を探索するが、文学をひとつの研究「対象」として「知識論」の観点から論じるようになったのは、清末に新式学堂が設立され、「文学」が「学科」のひとつとして以後のことである。清末以降、学問の「知識化」「客観化」の傾向は、文学を含むあらゆる人文学へと徐々に押し寄せ、時とともに人文学と科学的事例の最たるものは、まさしく一九二〇年代の「科学／文学論争」である。

本特集は、近代の知識体系が各形式の文学表現にどのように融け込んだのか、新詩・翻訳小説・清代白話小説及び民間の韻文体などの異なる文体形式により、国外の知識がいかに伝播し導入され、国内の知識がいかに統合されたのかを探索する。また、その近現代的経験や言語形式を弁証法的に説明し、中国近現代文学がいかに近代「知識」経験の変化を捉えるのかを論じる。

【座談会】鄭毓瑜×王德威×林少陽×伊藤徳也×石井剛×橋本悟×津守陽×潘少瑜×高嘉謙×許暉林×裴亮×張政傑
【論説】鄭毓瑜、潘少瑜、伊藤徳也、高嘉謙、津守陽、鳥谷まゆみ、裴亮、林少陽

執筆者紹介

石 碩 Shi Shuo

一九五七年生まれ。四川大学中国蔵学研究所副所長・歴史文化学院教授。チベット族史、西南民族史。『西藏文明東向發展史』『吐蕃政教關係史』『藏族族源與藏東古文明』『藏彝走廊——文明起源與民族源流』『青藏高原碩果研究』

劉 志揚 Liu Zhiyang

一九六五年生まれ。中山大學人類学系教授。中国少数民族社会・文化、チベット学人類学。『藏彝走廊里的白馬藏族——習俗、信仰與社会』『鄉土西藏文化傳統的選択與重構』

李 紹明 Li Shaoming

一九三三—二〇〇九年。四川省民族研究所研究員。涼山イ族奴隸制社会、チベット族社会・歴史、チヤン族社会・歴史。『民族学』『涼山彝族奴隸社会』『羌族史』『彝族古代史』『李紹明民族学文選』

袁 曉文 Yuan Xiaowen

一九六六年生まれ。四川省民族研究所所长。民族学、人類学、チベット学。『四川藏区個体私营經濟發展研究』『四川民族地区基礎教育現狀調查分析與对策研究』(編著)『中華文化大系・藏族卷』(雪域之光)(主編)

冉 光榮 Ran Guangrong

一九三八年生まれ。四川大学歴史文化学院教授。中国近代史、西南民族史。『中国蔵伝仏教史』『羌族史』『自貢塩業史』

楊 天宏 Yang Tianhong

一九五一年生まれ。四川大学歴史文化学院教授。中国近現代史研究。『口岸開放與社会変革——近代中国自開商埠研究』『基督教與民国知識分子——一九二一年—一九二七年中国非基督教運動研究』『救贖與自救——中華基督教會边疆服務研究』

汪 洪亮 Wang Hongliang

一九七六年生まれ。四川師範大学歴史学院教授。中国近現代史、边疆学術史、地方文化史、中国におけるキリスト教布教史と大学校史。『民国時期的辺政與辺政学』『民国時期的辺政研究與民族学——從楊成志的一篇旧文說起』『民国時期国人对“辺疆”、“辺政”涵義的認識』

李 錦 Li Jin

一九六五年生まれ。四川大学中国蔵学研究所・歴史文化学院教授。チベット族の社会と文化、人類学の理論と方法、生態人類学。『家屋與嘉絨藏族社会結構』『民族文化生態與經濟協同發展——对瀘沽湖和香格里拉的案例研究』『羌笛新曲——王泰昌家族百年口述史』

羅 中樞 Luo Zhongshu

一九五六年生まれ。四川大学公共管理学院教授。行政管理および边疆治理研究。『人性的探究——休謨哲学述評』『重玄之思——成玄英的重玄方法和認識論研究』『公民社会與農村社区治理』

耿 静 Geng Jing

一九六九年生まれ。四川省民族研究所研究

員。民族学、チャン族社会・文化。『羌郷情』
『汶川蘿蔔寨考察報告』『羌族服飾文化図志』
(共著)

王田 Wang Tian

一九八〇年生まれ。西南民族大学副教授。文
化人類学。『從内陸辺疆到民族地方——雅谷腦
河流域の市場演化與族群互動』清代前期雅谷
腦河流域の漢番山地交易——以半坡寨文書为中
心』『羌族地区村落社会的災難应对機制研究』

周蜀蓉

Zhou Shirong

一九五六年生まれ。四川大学博物館教授。文
化人類学、華西辺疆研究。『葛維漢民族学考
古学論著』(共編著)『発現辺疆——華西辺疆研
究学会研究』

鄒立波

Zou Libo

一九八〇年生まれ。四川大学中国蔵学研究所
副教授。チベット学、西南民族史。『明清時期
嘉絨蔵族土司關係研究』『青蔵高原碉楼研究』

張琪 Zhang Qi

一九八七年生まれ。四川大学助理研究員。文

化人類学、中国西南少数民族宗教。『陰伝：
白禪羅鬼師の職業身份獲得——兼與盤瑯師公之
比較』「統計化・社会転型の另類向度——評劉
新的〈中国風景〉」『榮耀與輝度……一種政治
建構維度——(尼加拉)的再解読』

李沛容 Li Peirong

一九八三年生まれ。四川大学中国西部辺疆安
全與發展協同创新中心特聘副研究員。中国近
代史と西南少数民族の社会・文化。『乱世求
存——二〇世紀五〇年代前川滇辺地的歴史與文
化』『民国学界对辺地土司問題的認知與求
解』『抗戦以来民族学／人類学界对国族建構
的新解——以西南民族研究為中心』

川田進

Kawata Susumu

一九六二年生まれ。大阪工業大学工学部教
授。中国地域研究。『東チベットの宗教空
間』『中国のプロパガンダ芸術』

小西賢吾

Konishi Kengo

一九八〇年生まれ。金沢星稜大学教養教育部
准教授。文化人類学。『四川チベットの宗教
と地域社会——宗教復興後を生きぬくボン教徒
の人類学的研究』『Inter-regional Relationships

in the Creation of the Local Bon Tradition: A
Case Study of Amdo Sharkhog』『再生／越境す
る寺院ネットワークが支えるボン教の復興』

河合洋尚

Kawai Hiroao

一九七七年生まれ。国立民族学博物館グロ
バル現象研究部准教授。社会人類学。『景観
人類学の課題——中国広州における都市環境の
表象と再生』『日本客家研究的視角與方法——
百年的軌跡』(編著)『Creating Multiculturalism
among the Han Chinese: Production of Cantonese
Landscape in Urban Guangzhou』

宮脇千絵

Miyawaki Chie

一九七六年生まれ。南山人類学研究所第
一研究員、同人文学部准教授。文化人類
学。『装いの民族誌——中国雲南省モンの「民
族衣装」をめぐる実践』『民族服飾』の品牌
和流行——以雲南省文山州蒙支系苗族服飾的成
衣商品化為例』『Changes in Minority Life Seen
Through the Transformation of Dress: A Case
Study of Hmong in Yunnan, China』

塚田誠之

Tsukada Shigeyuki

一九五二年生まれ。国立民族学博物館名誉教

授、愛知大学国際問題研究所客員研究員。歴史民族学。「壮族社会史研究—明清時代を中心として」「壮族文化史研究—明代以降を中心として」「民族文化資源とポリティクス—中国南部地域の分析から」(編著)

高橋五郎 Takahashi Goro

愛知大学現代中国学部教授。中国農業・食糧問題。「中国経済の構造転換と農業」「日中食品汚染」「チャイナ・トリックス」

加納希美 Kano Nozomi

金沢大学人文学類専任講師。中国語学。「動量詞句とりたて構文のシNTAXと意味」「計量臨時量詞の構文機能—空間様態描写機能を中心—」「拡張—二重目的語構文の成立条件—臨時量詞による結果描写との関連を中心—」

松岡正子 Matsuo Masako

一九五三年生まれ。愛知大学現代中国学部教授。中国文化人類学。「青蔵高原東部のチャン族とチベット族—2008 汶川地震後の再建と開発」「中国青蔵高原東部の少数民族族、チャン族と四川チベット族」「四川のチャン族—汶川大地震をのりこえて(1950-2009)」(共著)

記者紹介

飯田直美 Iida Naomi

一九七三年生まれ。愛知大学国際問題研究所補助研究員。中国文学。「五四の「反伝統」問題再論(翻訳)」

高橋めぐみ Takahashi Megumi

一九七五年生まれ。愛知大学非常勤講師。中国語学。

柏木豊美 Kashiwagi Toyomi

愛知大学大学院中国研究科博士後期課程在学。中国文化人類学、中国雲南省少数民族の文化。「ラフ族に関する先行研究とその課題」「ラフ族の創世神話に関する一考察—本多正廣 Honda Masahiro

一九四七年生まれ。愛知大学大学院中国研究科博士後期課程在学。中国民俗学、民国期の

齊魯山、「三百六十行」研究。

嶋田 聡 Shimada Satoshi

一九七二年生まれ。長野大学、長野ビジネス外語カレッジ非常勤講師。中国近代文学、台湾近代文学。「自治」と「友愛」—日本統治期台湾における蔡培火の政治思想「日治時

期蘇維熊文芸思想的歴史考察—以「自然文学」为中心」「文学論の表現モデルとしての厨川白村—黄得時」「科学上の真」与「芸術上の真」と雑誌「先鋒部隊」に関する一考察」

学会通信

◎学会員活動(二〇一八年四月—二〇一八年十月) 薛 鳴

講演「人間関係が如何に言語行動影響するか—中国語社会と日本の比較から」(待遇コミュニケーション学会二〇一八年秋季大会、於早稲田大学、二〇一八年一〇月二七日)

松岡正子

学会報告など「宗族社会中的的女性機能研究—以金門泉珠山聚落的女性為例」(亞太区域發展中的廈金角色) 學術研討会、於中國・廈門大学、二〇一八年九月二十九日、「爾蘇藏族的J〇與羌族的白石—遷徙伝説的記憶與再生」(漢藏羌文化交流史研討会—第三屆多視角藏羌彝走廊研討会、於中國・中央民族大学、二〇一八年一〇月二〇日)、「災害重建與文化力量—以二〇〇八年中国汶川地震與二〇一一年東日本大震災為例」(南方沙龍—講座、於マレーシア・南方大学学院、二〇一八年八月二三日)

編集後記——一九三〇〜四〇年代の抗戦期、中国沿岸部の大学は次々に西南地区に疎開し、四川や雲南には多くの人類学者や隣接諸科学の研究者が集結した。その結果、成都では華西協合大学を中心とした華西学派が、昆明では雲南大学と西南連合大学が中心となって現地の少数民族調査を行い、大きな成果を残した。少数民族研究の黄金期であった。それは、当時の民族集団が、緩やかな変化をとりながらもなお原初の姿を残していたこと、一方研究者側においては、様々な分野の研究者が一堂に会し、救国の名の下に個人あるいは集団で、受容しただけの西欧の理論と方法でフィールドワークを行った、という二つの要因が重なった結果でもある。◇日本では、当時の民族研究については雲南のみがとりあげられ、四川のことはほとんど知られていない。しかし両者は、近年復刻された英文の『華西边疆研究学会雑誌（整理影印全本）』全十巻（四川大学博物館整理、中華書局、二〇一四年）と『西南聯大時期民族調査文書巻（南開大学博物館蔵品図録）』（南開大学博物館編、科学出版社、二〇一七年）を比べれば、その学術的内容や当時の世界に対する影響力など、違いは明らかである。◇李紹明先生は西南民族研究を行うすべての者にとって「師」であった。筆者も李錦や耿静とともにご指導をうけて共同調査をし、奇しくも、同時期に李先生が最後に提唱されたテーマを検討し始めた。華西学派の「遺産」を正しく評価し後世に伝えることが「弟子」の使命であると思う。◇最後に、責任編集者として発行時期が大幅に遅れましたことを、執筆者ならびに関係者各位に心よりお詫び申し上げます。

（松岡正子）

投稿原稿募集 新しい発想から現代中国をめぐる諸問題に切り込む、気鋭の論考を広く募集します。現代中国に関するテーマであればジャンルは問いません。むしろ、既存の学問のジャンルを打ち破るような斬新な発想を期待します。①未発表のものに限る ②論説、研究ノート、報告・ルポ、資料等=50枚程度、書評=20枚程度、エッセイ=10枚程度（400字詰原稿用紙換算）③ワープロソフトで作成した原稿の打ち出し2部およびデジタルデータを提出。デジタルデータはeメールでの送信も可。

〈原稿送付先〉愛知大学現代中国学会 E-mail: china21@ml.aichi-u.ac.jp

投稿規程の詳細は現代中国学会までお問い合わせ下さい。採否は編集委員会の検討を経て決定し、採用にあたっては規定により薄謝を進呈します。なお、応募された原稿は採否にかかわらず返却いたしません。

中国21編集委員会

〔編集長〕松岡正子 阿部宏志 梅田康子 木島史雄 薛鳴 三好章 黄英哲

愛知大学現代中国学部 <http://www.aichi-u.ac.jp/college/chi.html>

中国21 Vol.49

特集 華西边疆研究

2019年1月25日発行

ISBN 978-4-497-21905-3 C3025

編集 愛知大学現代中国学会
名古屋市中村区平池町4-60-6 〒453-8777
Tel. 052-564-6128 Fax. 052-564-6228

発行人 安部 悟

発売元 株式会社 東方書店
東京都千代田区神田神保町1-3 Tel. 03-3294-1001

制作印刷 株式会社 あるむ
名古屋市中区千代田3-1-12 Tel. 052-332-0861